

「トリビア」生みの親・唐沢俊一さんが“盗作”

06/06 17:44

「トリビア」ブームの生みの親としても知られる作家、唐沢俊一さん（49）が先月発売した著書『新・UFO入門』（幻冬舎新書）の一部に、ブログ「漫棚通信」の文章と酷似した記述が掲載されていることが6日、わかった。

“盗作”を指摘したのは、同ブログの運営者。『新・UFO入門』を読んでいた、自身が一昨年11月にブログに書いた内容とよく似ていることに気づいた。これを受け、同ブログ4日付の書き込みで、ほかのUFO関連文献の要約の言い回しや引用箇所について、6カ所を挙げて類似性が見られると主張。唐沢さんと出版元の幻冬舎に対し、抗議のメールを送付した。

唐沢さんはいち早く同ブログの運営者にメールで謝罪するとともに、自身の公式サイト上でも報告。記述の類似について「大いに参考にさせていただいたことは事実」と認めた上で、「『漫棚通信』の記述より多くのものを得ているという事を明示していなかった」として同サイトで謝罪した。“盗作”との見方については「悪意または盗用という意はまったくありません」と否定した。今後増刷分の当該記述の扱いについては、現在運営者と協議中という。

唐沢さんは、いわゆる「トンデモ本」と呼ばれる、荒唐無稽な学説などを唱える書籍を品評する会「と学会」のメンバーで、サブカルチャーやオタク文化などをテーマに執筆活動を展開。今年4月からは、朝日新聞書評委員を担当している。（イザ！編集部）

[「トリビア」生みの親・唐沢俊一さんが“盗作”-本・アートのニュース:イザ！](#)

今日：3
昨日：1
